第２学年　後期中間テスト（仮）試験範囲

第１日：１１月２５日（水）

	試験範囲	学習のアドバイスや提出物について
１校時 数学	◎教科書Ｐ６０～Ｐ１０２ ３章一次関数すべて ４章角と平行線まで ・ワークＰ５６～Ｐ８１ ★作図セット忘れずに持ってきましょう★	ワーク、教科書の章末問題や教科書の総まとめ問題などを解き、問題の傾向に慣れていきましょう。今回の範囲は、関数のグラフを書く問題が出題されますので、作図セット（三角定規・コンパス）を確実に持ってくるようにしてください。基本問題だけでなく、応用問題にも触れるようにしてください。 【提出物】 範囲：ワーク～Ｐ１０２まで 提出日：各担当の先生の指示に従ってください。
２校時 国語	◎教科書 『紙の建築』 『随筆の味わい―枕草子・徒然草―』 『短歌の味わい』 『夏の葬列』 『話し言葉と書き言葉』 【提出物】 ★漢字マスターP.４４～５９ ★国語の学習 P.３８、４０～４４、６０～６３、７０～７２、８３～８９、９２～９８	まずは、ワークを何度も解き、要点を理解しましょう。それに伴って、教科書の試験範囲のページをもう一度読み直しましょう。本文だけでなく、注釈などもよく読むと理解が深まります。 今回は文法が試験範囲に入っていません。そのため工夫して勉強をする必要がありそうです。 ワークやノートを取るときから、濃く・はっきり・丁寧に書くように意識してみましょう。試験の時に自然と意識できるようになると思います。 早めから復習を始めると良いと思います。頑張りましょう。
３校時 英語	◎教科書 Unit 4 P.49～P.56 Unit 5 P.59～P.66 【提出物】 ★ノート 前半ノート P.64～P.71 後半ノート P.2～P.9 ★ワーク P.54～P.82 (P.66 は除く)	今回は２つの unit の文法と単語がしっかり入っています。助動詞 should / must、have to～、動名詞、疑問詞を含む文法を使って文章を作れるようにしましょう。疑問文と疑問詞を含む文法の違いを理解し、to 不定詞の復習もしっかりしておきましょう。 後期の授業が始まり、表現の幅が広がっています。場面に応じた英語表現の選択がカギになります。意味の違いを考えながら、英文を書く練習をしましょう。 ワークの範囲は広いですが、３周以上して文の形に慣れてください。それを応用すると問題は解けると思います。

第２日：１１月２６日（木）

	試験範囲	学習のアドバイス
１校時 社会	○教科書【地理】P.238～268 関東地方～北海道地方まで ○地理の自主学習 P.50～80 ○教科書【歴史】P114～１３７ 江戸時代について ○歴史の自習学習 P6～27 ○授業ノート、プリント	・今回のテスト範囲は【地理的分野】と【歴史的分野】です。授業で学習したことを中心に復習をしましょう。 ・ワークは繰り返して解きましょう。 ・テストでは、濃くはっきりと書くようにしましょう。 ※ワーク・授業ノートの回収日は各教科担任の先生から連絡があります。ワークに関しては、丸つけ、間違い直しまでしっかり行いましょう。
２校時 理科	○教科書 P42～107、124～127 ○ワーク『よくわかる理科の学習』 P14～53、60～67 （教科書の範囲に該当する部分） ○授業ノートやプリント	・生命単元は「動物の呼吸」からが範囲です。 ・地球単元は「３章　天気の変化と大気の動き」までです。 ※ワークは、「学習ノート」にやったものを提出します。範囲に該当する部分を全てやり、丸付け、解き直しまでやったものを期限までに提出しましょう。 **【提出期限】２、６、10、11 組　…　授業で伝えます。** **その他のクラス　…　11 月 24 日（火）**